

構造化抄録フォーム

番号	“Clinical Question 3-3”-”文献検索フォーム文献リスト 6”
タイトル	術前診査に対する歯科用 CT とマルチスライス CT の有用性の基礎的検討
著者名	澤田久仁彦 , 松本邦史 , 加島正浩 , 里見智恵子 , 萩原芳幸 , 新井嘉則
雑誌 年;巻:頁	日大歯学 80(1): 5-9, 2006
目的	Helical scan data から作成した再構成画像と conventional scan data から再構成した画像の視覚的な画像の quality の評価
研究デザイン	<input type="checkbox"/> meta-analysis <input type="checkbox"/> systematic review <input type="checkbox"/> DB-RCT <input type="checkbox"/> RCT <input type="checkbox"/> CCT <input type="checkbox"/> cohort study <input type="checkbox"/> case control study <input checked="" type="checkbox"/> case series <input type="checkbox"/> case report <input type="checkbox"/> others
研究施設	日本大学, 東京, 日本
対象患者	乾燥下顎骨
介入・検査	歯科用 CT および MDCT の data より作成した再構成画像での測定値と実測値の比較検討。 歯科用 CT : 3D x (モリタ) MDCT: ASTERION Super 4 (東芝)
評価項目	歯槽頂から下顎管上縁までの距離(A), 歯槽頂幅(B)
統計手法	F 検定 および t 検定
結果	A, B の測定値に関して、MDCT では実測長と有意差があったが、歯科用 CT では有意差がなかった。歯科用 CT では誤差は A,B とも 0.01mm であり、MDCT では、A にて 0.1mm, B にて 0.09mm であった。
尤度比 Odds 比	
結論	歯科用 CT は MDCT より計測誤差は小さかった。
コメント	高分解能の歯科用 CT の距離精度が、MDCT より勝るといった論文である。対象部位が小照射野でカバーできる時には、歯科用 CT(小照射野)の評価を指示する論文と考える。
記載者	筑井 徹